

# 退職者連絡会

第17号  
(発行・編集)  
J R九州労組  
退職者連絡会  
鹿児島地区本部

## 「さんたんぞの輝男」出陣式 雨の中必勝に向けて200名が結集

四月一日午前十一時より地元星ヶ峯団地において「さんたんぞの輝男」鹿児島市議会議員候補の出陣式が開催され、会場には雨にも関わらず地元住民をはじめ、各支援労組、団体ら二〇〇名が結集、推薦労組の一角を担うJ R九州労組も延時中央本部副委員長、地本より江口委員長、退職者連絡会より中村会長他三役らが駆けつけました。

まず、団地後援会を代表して、平野洋一会長が挨拶「6期二四年の間、団地の生活環境の整備をはじめ、青少年の教育、スポーツ振興にご尽力頂いた。必勝に向けて皆様のお力添えを」と訴えられた。引き続き、同窓会、地域



コミュニケーション協議会、西校区社会福祉協議会代表あいさつ後、野間たけし衆議員が登壇「参院選に加え、衆院選との同

日選も取り沙汰されており、本市議選はその前哨戦として極めて重要な闘いだ。選挙は油断大敵。もう一度、親戚、友人、知人への呼びかけを」と檄を送りました。その後、「さんたんぞの輝男」候補が

挨拶に立ち「鹿児島市の人口も六〇万人都市となっているが、減少数が六千弱となっており、県内市町村のうちで減少数は最大だ。スローガンでもある『共に創ろう、ふるさと鹿児島』自然豊富な鹿児島で、資源の掘り起こしの活用や障がい者雇用・就労の促進など共生

できる社会づくり、自立できる子育て世帯の支援と高齢者支援策の充実・向上などの福祉づくり、若者の雇用対策等々、課題は山積みだ。今日までの経験を生かし、全力で取り組む」と決意を表明しました。その後、出身の九州電力労組を代表して、川俣広隆委員長が挨拶「今回は、定数五〇に対し、五人が立候補を予定している。前回より



四人少なる見込みで、少数激戦となる。陣営には安泰ムードがあり、非常に心配している。投票率も低下傾向にあり、是非、棄権の無いよう期日前投票を知人に勧めてほしい。十七日投票日まで気を緩めることなく、皆様のお力添えで当選を勝ち取りたい」とお願いと決意を述べました。最後に、地元西校区体育協会の田尻聡会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、本隊車は地元を皮切りに、声高らかに「さんたんぞの輝男」を連呼、市街地へ練り出しました。

去る三月十日ろうきん友の会南支店主催の恒例春季グラウンド・ゴルフ交流が「吹上浜荘」（いちき串木野市）で開催され、退職者連絡会の会員7名の他、各産別OB三〇名が参加しました。

J R中央駅西口を送迎バスで九時過ぎに出発。到着後、組別抽選後スタート。海辺の見える旅館庭に設けられたフラットなコースでしたが、ホールインワンが出るなどシニアとは思えないはつらつしたプレーに歓声が沸きました。

鹿児島では、七月は知事選、参議選の同日選挙が予定されており、これに加え、衆議院の解散・総選挙も噂されている。トリプル選挙になると投票箱が足りないと選挙も悲鳴を上げています。十八歳の選挙権引き下げもあり、有権者も戸惑いをかくせない。安倍政権の暴走をストップさせるには、選挙で勝つしかない。野党の大同団結にも大いに期待したい。

（全通）の音頭で乾杯。自己紹介やカラオケの余興もあり昼食交流会は大いに盛り上がり、最後に来年の再会を誓い、散会となりました。

### グラウンド・ゴルフ交流 連絡会から7名参加 ろうきん南支店友の会

### 編集後記

鹿児島では、七月は知事選、参議選の同日選挙が予定されており、これに加え、衆議院の解散・総選挙も噂されている。トリプル選挙になると投票箱が足りないと選挙も悲鳴を上げています。十八歳の選挙権引き下げもあり、有権者も戸惑いをかくせない。安倍政権の暴走をストップさせるには、選挙で勝つしかない。野党の大同団結にも大いに期待したい。